

## 第 38 回中国文化セミナー開催報告

「中国文化セミナー」は、日頃日中間のビジネスに携わっています皆様に、普段とは少し違う視点から中国をご理解いただくことができるよう、様々な中国の文化・伝統・習慣や生活などについて紹介をし、体験いただくことを提案しています。

令和 3 年度は、王文強氏による「変面の世界」と題した公演を観覧させていただき、かつてない新しい伝統芸能の姿を堪能しました。

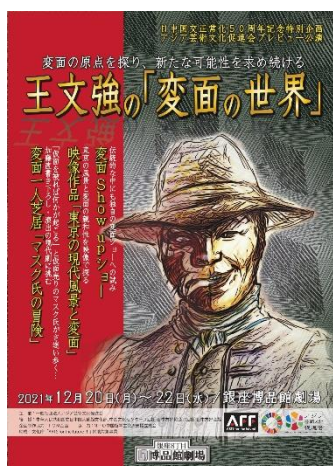
日時：2021 年 12 月 20 日（月）～22 日（水）

場所：銀座博品館劇場

演者：王文強氏

演出：加藤直氏

参加人数：13 社、28 名



### < 演者プロフィール >

中国安徽省生まれ。12 歳より中国伝統劇を学び、2014 年来日。日本大学大学院芸術学研究科舞台専攻に入学、京劇と歌舞伎などの古典芸能研究を行う傍ら国際文化交流などに関心を抱き、2018 年に「一般社団法人アジア芸術文化促進会」を設立。

主な出演作品：日中合作劇「羅生門」（2019 年）、長崎孔子廟「文化的な夜遊び」（2020 年）、ワンアジアフェスティバル（2021 年）など多数。

現在、アジア芸術文化促進会代表、豊島区国際アートカルチャー特命大使・日本徽商協会理事。

### < 演出プロフィール >

70 年「68/71 黒色テント」（現黒テント）の創立に参加。劇団での作・演出活動を中心に、80 年代中頃からは劇団外でも、オペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、合唱と多岐に

わたる活動を開始する。2010年から松本市民芸術館で「まつもと演劇工場」工場長を務める一方、公演作品『西遊記』などで積極的に仮面を使い、独自の仮面劇作りにも挑戦している。

近代における「表現」のあり方を検証していく鋭さとともに、物語を俯瞰しながらも暖かくみつめ、知的なスラプスティックに仕立てていく丁寧な作品づくりに定評がある。

### <公演内容>

日中国交正常化を翌年に控えた2021年末、翌年の本公演に向けたプレビュー公演として、「王文強の変面の世界」が上演されました。

中国の国家機密と言われる伝統芸能「変面」と日本の経験豊富な演出家・劇作家の加藤直氏や、日本のスタッフと共に新たに創意工夫を施した、「変面と現代の融合」を試みた公演で、日本の劇作家・演出家と、門外不出である中国伝統芸能「変面」がコラボレーションをし、「現代劇」を制作するという本試みは、世界的にも類を見ない初めての取組みであり、演劇評論家や観客からも好評を博しました。

#### ●第一部「変面 Show Up ショー」

伝統的な変面ショーの中にも、後半は誰もが知る日本のPOP曲やお面を取り入れ、ストーリー仕立ての変面ショーでした。



#### ●第二部「映像作品・東京の現代風景と変面」

東京の美しい街並みや四季を感じる動画を付け加えた映像作品として、日本の風景と変面の親和性を追い求め続けている素晴らしい動画が上映されました。



● 第三部「変面一人芝居・マスク氏の冒険」

公演の目玉「変面一人芝居・マスク氏の冒険」は、「変面」を現代劇に融合させ、中国人の演者が、日本語で現代劇に取り組んだ作品でした。

変面の「芸術的原点」と、変面を用いた「現代劇との融合」を目指し、中国では珍しい「一人芝居」でした。物語は、仮面売りのマスク氏が「仮面を被るべきか取るべきか……。でも仮面を被れば何かが起こる」という物語で、哲学的な要素もあり、大変興味深い内容でした。



昨年末はプレビュー公演として開催され、今年は日中国交正常化 50 周年の本公演が開催される予定となっており、日中建協も大変期待を寄せております。開催日程などが確定次第、会員企業各社様へご案内いたしますので、乞うご期待ください。

公演内容の詳細については、会報誌 No.256 号（3・4月号）に掲載しています。